

【依知南地区】令和6年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時: 令和6年7月31日(水) 午後7時～午後8時
 会 場: 依知南公民館 2階集会室
 参加者: 地区の自治会長(7名)、公民館地区館長
 市長、副市長、教育長、企画部長、企画部次長、総合計画担当課長、公民館・地区市民センター長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 スーパーマーケットの誘致について	
【中依知自治会】 ■スーパーマーケットやドラッグストア等の誘致をお願いします。以前は、スーパーがありました。依知南地区のほとんどの住民がそのスーパーを利用していましたが、数年前に閉店になりました。現状では厚木の街中に出たり、中津川を越えて、三田のスーパーに行ったり、車を利用しなくては行けない現状です。これを歩いて買い物に行けるように改めて見直していただきたいと思います。 この依知南地区は、年々高齢者が増えております。やはり高齢者になりますと体を悪くすることがあり、病院から処方箋をもらい、薬が必要になります。今では、処方箋はドラッグストアに持っていくと調剤してもらえます。高齢者のためのまちづくりと生活に必要な施設の整備について、市の取組を改めてお願いします。	■依知南地区においては、多くの皆様方から御要望をいただいている生活利便施設について、私もかねてから何かできないかという思いがありました。皆様方が歩いて、又は自転車で生活ができるよう、処方箋等だったり、その地域で暮らしやすく、子どもから幅広い世代の方々までが集える施設は大変重要だと思っています。現状では誘致に至っていませんが、市では、補助制度を活用して、企業に進出してもらえるよう取り組んでおり、スーパーを設置していただければ最大1億円を出して積極的に誘致をしていきたいと思っています。また、ドラッグストアは最大5,000万円、コンビニも最大2,000万円等、補助金を出す取組をしているところです。民間企業や店舗等も地域を見て出店を考えられているのではないかと思います。 是非、出店情報も皆様方からいただければ、市としてもこの制度を利用させていただき、誘致を進めていきたいと考えています。今後も皆様方とともに、依知南地区がより住みやすい地域、環境となるよう、市全体としてしっかりと取り組んでまいります。 (担当課: 都市計画課)
意見2 通学路の安心安全について	
【下依知自治会】 ■下依知には、国道129号線に平行して東側には水道みちがあり、相模原方面から走ってくる車は混雑を避けるために水道みちに入って、国道246号線に抜ける車が多く走っています。水道みちは、午前7時から午前9時までは、追分バス停近くの交差点と次のファミリーマート近くの交差点は左折禁止なのですが、違反をしていると思われる車が多く、そればかりかファミリーマートの駐車場に入り、駐車場から水道みちに入ってくる車も多いです。また、水道みちは、スピードを出す車が多く、水道みちの横断歩道は通学路になっており、いつか子どもが事故に遭う合うのではないかと心配しています。ハンプを付けてはどうかと考えましたが、坂道に付けるとかえって危険だという話を聞きました。ハンプにかわる有効な交通事故防止策は何かありますか。	■通学路の安心安全、子どもたちを守っていかなければならないという思いは、地域と我々行政も同じです。課題がある中で、しっかり取組を行い、子どもたちを守っていききたいと思っています。水道みちを通行する車両ですが、現在、注意喚起の看板等も設置をしているところです。また、横断旗を利用しながら皆様方の実情に合わせて交通安全をお願いをしているところですが、それだけでは厳しい部分もあります。その対応策として、ハンプを付けたらどうかのご提案もありました。ハンプは、振動や騒音が発生する可能性があるため、近隣にお住まいの方の理解が必要です。また、ハンプによって車の危険度が増す可能性もあります。事前に標識でこの先にハンプありと知らせることによって、スピードを落としながら通行する可能性もあります。もしハンプを設置しないのであれば、道路上に視覚効果によって立体的な障害物があるように見せかける「立体路面標示」を設置するなどの方法もありますので、地域の皆様方と協議しながら我々も希望に沿った取組をしてまいります。 通学路の安全対策ですが、ウェアラブルカメラを子どもの肩に設置するなど、子ども目線で交通安全対策を進めるほか、危険箇所の把握についても学校と連携しながら通学路の安心安全に取り組んでまいります。 通学路における安全対策については、学校、PTA、地域の皆様と協議をしているところですが、一つ一つの課題を解消しても、年々大型車も増えている状況で、危険箇所が新たに生まれている状況があるのではないかと思います。これに限らず、皆様方が気づきがあったところを挙げていただきながら、我々行政はスピード感を持って対処してまいります。 《実施日以降の対応状況等》 ■令和6年8月23日(金)に「通学路につきスピード落とせ」の注意喚起看板を通学路区間中に4枚設置しました。 (担当課: 暮らし交通安全課、道路維持課、学務課)

意見3 （仮称）北部地区公園の整備状況について

【金田上部自治会】

■昨年は関東大震災から100年の節目でありました。災害はいつ来るか分かりませんが、災害に対する備えの重要性を感じたところです。今年も元旦には石川県の能登半島で震度7の非常に大きな地震が発生しました。その後、福島県沖や茨城県の南部、昨日は東京でもあった状況で、いつ地震が来るかも分かりません。

この依知南地区は、中津川と相模川に挟まれているために、大災害が発生しますと高規格道路は、圏央道と国道246号線、国道129号線とありますが、もしそこが遮断されると、陸の孤島となってしまいます。いつくるか分からない地震のためになるべく早く整備を進めていただきたいと思います。また、地域住民の命を守る拠点となる、（仮称）北部地区公園の現在の整備状況はどんな状況なのか、お聞かせください。

■（仮称）北部公園においては、1年かけて基本的な計画を今まで作成してきたところです。いつ起こるか分からないこの震災において、多くの方々が避難できる場所を早急に作っていかねばならないと強く思っています。

今の（仮称）北部公園の進捗状況については、依知北地区13自治会長と依知南地区8自治会長の皆様方を対象とした説明会を8月16日、8月17日に開催してまいります。その中で、今の進捗状況等もお話ししますが、場所は我々の決めているところとともに地権者の同意も必要です。早急に防災機能を持った公園もしっかりと設置してまいります。災害時だけではなく、平時には地域の皆様、子どもから高齢者までの幅広い世代の皆様方の憩いの場としても公園を利用していただきたいと思います。早急に取り組まなければいけないと思っています。公園整備は、皆様の協力も必要ですので、どうぞお力添えをお願いします。

（担当課：公園緑地課）